

命を守る**避難**のために！



令和3年12月17日、大阪市北区において、死傷者28名を出すビル火災が発生しました。

階段が1つしかないビルで火災が発生した場合、重大な命の危険があります。

あなたが働くビルで火災が発生した際、他の従業員や利用者、そして自分自身の命を守るために、一人一人が「今、何ができるか」を確認しておきましょう。

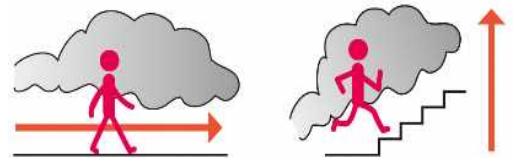
もしもの火災に備えて！

○まず、「**煙**」などの**怖さ**を知ってください！

特性① **煙は、上に広がります**

煙は階段を伝って急速に上に広がるため、階段を使って避難できなくなることがあります。

室内では、まず天井に広がって次第に床面へと下がり、全体が煙に包まれます。



毎秒 0.5~1m
(歩く速さ)

毎秒 3~5m
(駆け足の速さ)

特性② **煙は、視界を奪います**

大量の煙で視界が奪われ、避難する方向や今いる所が分からなくなることがあります。

特性③ **煙は、多くの有毒ガスを含んでいます**

煙には、一度吸い込むだけで体が動かせなくなる有毒ガス^{*}が含まれています。

(※ 一酸化炭素、塩化水素、シアン化水素等)

特性④ **炎や熱気で、室内が高温になります**

火災最盛期の室内温度は「1,000℃」を超えることもあります。

熱気を吸い込むと気管支や肺などにやけどを負い、呼吸ができなくなります。



階段に煙が充満して使用できない時、あなたはどのようにやって自分の命を守りますか？

火災時に命を守るための行動を裏面で確認しましょう！

火災時に命を守るための行動

もし火災が発生してしまったとき、次の行動がとれるように日頃から備えておきましょう！

■ 火災を知らせるベルや放送が鳴ったらすぐに行動（避難）する

- ・階段が1つしかないビルには火災を感知して知らせる自動火災報知設備が設置されています。ベルや放送が鳴ったら落ち着いてすぐに避難を開始します。



階段が1つしかないビルで火災が発生したら、**1分1秒の遅れが命の危険**となります。「誤報かな？」ではなく「火災かも！」と意識し、すぐに避難を開始しましょう。



■ 火が小さければ消火器で初期消火する

- ・ご自身のテナントで火災が発生し、火が天井まで達していないときは、消火器等で初期消火を試みてください。



消火が難しいと判断したら、すぐに避難してください。この時、大声で「火事だー！」と叫びながら避難します。



1 黄色の安全ピンを上に抜く

2 ノズルを炎に向ける

3 上下のレバーを握る

■ 階段で避難できない時はバルコニーに避難する

- ・階段室に煙が充満して使用できない時は、外気に面したバルコニーに避難します。
- ・バルコニーに避難器具が設置されている場合は使用して避難し、設置されていない場合は、身を低くして煙を避け、大声で助けを求めてください。



外気に面したバルコニーが無い場合、窓の付近に設置された避難器具を使用して避難します。バルコニーも避難器具もない場合には、道路側の窓がある部屋に一時避難し、窓から助けを求めてください。この際、煙が部屋に侵入しないようにドアの隙間等にテープ等で目張りをします。

「火災から命を守る避難」のための動画

(京都市消防局作成)



日常の維持管理で特に大切な3つのこと

- ① 階段やバルコニーに物を置かない
- ② 階段室の扉にストッパー等を設けない
- ③ 避難器具の位置と使用方法を確認する



千葉市消防局

CHIBA CITY FIRE BUREAU

担当：予防部予防課

TEL：043-202-1776